

もっと知りたい! 都電荒川線

自動車やバスと並行して走る姿がおなじみの、都電荒川線。多くの人々が利用している都電ですが、意外と知らないことも多いのでは。そこで今回は、尾久第六小学校5年生のジュニア記者4人が荒川電車営業所を訪ね、都電荒川線について取材しました。みんなは、どのくらい都電のことを知っているかな。クイズにチャレンジしてみよう!

問合せ 荒川電車営業所 ☎(3893)7451

Q1 停留場「王子駅前」と「飛鳥山」間の急な坂道では、雨の日は電車が滑らないようにレールにあるものをまきながら走ります。何をまいているのでしょうか?

- 1 砂
- 2 お湯
- 3 薬剤

田中怜くん

細かい粒が滑り止めになるね



Q2 昔、都電は東京のいろいろな所で走っていました。写真は昭和30(1955)年に撮影されたものです。都電が走っているこの場所はどこかな?

- 1 上野
- 2 銀座
- 3 渋谷

高橋千浩さん

奥にある建物、どこかで見たことあるよ!

写真提供: 東京都

Q3 昔は、運転手の他に車掌が乗務して、運賃の支払いを受け付けていました。運賃を払った切符の確認は、どのようにしていたのかな?

- 1 切符にハンコを押す
- 2 切符に穴をあける
- 3 切符を折り曲げる

東夏未さん

この道具を使ったんだよ

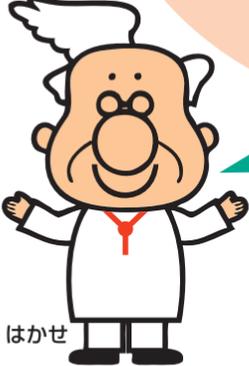
当時の車掌さんが持っていた道具のひとつ

Q4 「都電おもいで広場」には、現在は走っていない5500形と旧7500形の車両を展示しています。旧7500形は朝のラッシュ時に活躍したことから「〇〇号」と呼ばれ、親しまれていました。何と呼ばれていたのでしょうか?

- 1 おはよう号
- 2 社長号
- 3 学園号

田中舜くん

学校に行くときに乗ったからかな?



「三ノ輪橋」から「早稲田」まで12.2キロメートルを走る都電荒川線は、荒川区、北区、豊島区、新宿区の4つの区を走る、東京都が運行する唯一の路面電車なんじゃよ。都電の歴史はとても古く、明治44(1911)年に東京市が東京鉄道株式会社から路面電車事業を引き継いだ、東京市電気局が始まりなんじゃ。平成23年には「東京都交通局・都電荒川線100周年」として、記念の花電車が運行されたんじゃぞ。今年は都電荒川線の名がついて40周年。人と環境にやさしい交通機関として、多くの人に利用されておるんじゃ。

